2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名　　株式会社ビジョン　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　9416　　URL　https://www.vision-net.co.jp/
代　　表　　者　(役職名)　代表取締役会長 CEO　(氏名)　佐野　健一
問合せ先責任者　(役職名)　取締役 CFO　(氏名)　中本　新一　(TEL) 03-5287-3110

配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　(　機関投資家・アナリスト向け　)

(百万円未満切捨て)

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	29,434	1.8	4,940	4.0	4,906	3.3	3,283	3.3
2025年12月期第３四半期	28,913	10.7	4,748	10.0	4,752	8.7	3,178	10.8

(注) 包括利益　2026年12月期第３四半期　3,305百万円(　3.6%)　2025年12月期第３四半期　3,191百万円(　10.0%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	67.52	―
2025年12月期第３四半期	64.78	64.72

（注）　2026年12月期第３四半期の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	29,513	20,612	68.4
2025年12月期	30,172	21,289	69.2

(参考) 自己資本　2026年12月期第３四半期　20,184百万円　2025年12月期　20,864百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	20.00	―	30.00	50.00
2026年12月期	―	22.00	―		
2026年12月期(予想)				29.00	51.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
2025年12月期期末配当金の内訳　普通配当　25円00銭　記念配当　５円00銭

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,200	3.0	6,800	5.2	6,763	4.6	4,510	△0.3	94.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（注）詳細は、添付資料８ページ「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	50,938,600株	2025年12月期	50,938,600株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	3,118,687株	2025年12月期	1,729,436株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	48,625,662株	2025年12月期３Ｑ	49,058,068株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、添付資料４ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期連結累計期間の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期連結累計期間の財政状態の概況 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果等を背景に、緩やかな回復傾向で推移いたしました。一方で、中東情勢の緊迫化や相次ぐ自然災害の影響が懸念されるほか、金融資本市場の変動や物価高騰の長期化、世界的な金融引締め等に伴う海外景気の下振れリスク等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループにおきましては、既存事業における徹底した収益性の改善及びオペレーションの効率化に注力するとともに、ストック収益の拡大をはじめとする強固な収益基盤の構築や、将来の持続的成長を見据えた先行投資を推進してまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間における売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、いずれも前年同期を上回り、過去最高となりました。

	当第３四半期連結累計期間（百万円）	前年同期（百万円）	増減（百万円）	増減率（%）
売上高	29,434	28,913	520	1.8
営業利益	4,940	4,748	191	4.0
経常利益	4,906	4,752	154	3.3
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,283	3,178	105	3.3

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

（グローバルWiFi事業）

当第３四半期連結累計期間における訪日旅行市場におきましては、中東情勢に伴う航空券価格の上昇や一部路線における減便、台風による欠航等の外部環境の変化による影響がみられ、訪日外客数は前年同期比2.9%減の3,073万人となったものの、引き続き3,000万人を超える高い水準で推移しました。

一方、日本人出国者数におきましては、旅行先の物価高騰や円安、燃油サーチャージの高止まりに加え、不安定な国際情勢の影響を受けながらも前年同期比3.2%増の1,120万人となりました。回復傾向にはあるものの、2019年比では依然として74.4%に留まっております。（出典：日本政府観光局（JNTO））

このような事業環境のもと、個人旅行（アウトバウンド）におきましては、近距離・短期日程や割安感を重視する傾向が強まったこと等から、需要全体の回復ペースが当初想定を下回って推移いたしました。

また、法人顧客の獲得数自体は順調に拡大したものの、こうした外部環境の不透明感を背景とした企業の渡航控えが生じたことで、法人向け売上高が当初想定に届かない状況となりました。

一方で、データ容量「無制限プラン」や「電波改善プラン」の需要は堅調に推移し、顧客単価を高水準に維持できたほか、法人向けの「グローバルWiFi for Biz」や「World eSIM」も順調に事業拡大いたしました。

この結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は前年同期を下回りましたが、オペレーションの効率化や適切なコスト管理による収益性の向上等により、セグメント利益は前年同期を上回り、過去最高となりました。

グローバルWiFi事業	当第３四半期連結累計期間（百万円）	前年同期（百万円）	増減（百万円）	増減率（%）
売上高	14,499	15,514	△1,014	△6.5
セグメント利益	4,728	4,604	124	2.7

(情報通信サービス事業)

当第３四半期連結累計期間における情報通信市場におきましては、当事業が主にサービスを提供する中小企業において、2026年７～９月期の全産業の業況判断DI（業況感などを指数化したもの）が前期（2026年４月～６月期）比3.2ポイント増の△15.5となり、５期ぶりに改善がみられました。（出典：中小機構「第185回中小企業景況調査」）

このような事業環境のもと、自社ストックサービスの拡販を通じたストック収益の拡大や、強固な販売チャネルを活かした機器販売が堅調に推移し、LTV（顧客生涯価値）の最大化に向けた取り組みが順調に推移しております。

また、顧客の川上領域における接点強化及びグループシナジーの創出を見据え、経理BPO業務をはじめとするサービス基盤の拡充を図るとともに、2026年５月に連結子会社化した株式会社アイウィッシュ賃貸保証につきましては、グループシナジーの最大化に向けた事業基盤の整備を着実に進めております。

この結果、当第３四半期連結累計期間における売上高とセグメント利益は、前年同期を上回り、過去最高となりました。

情報通信サービス事業	当第３四半期連結累計期間（百万円）	前年同期（百万円）	増減（百万円）	増減率（%）
売上高	13,189	12,212	977	8.0
セグメント利益	1,492	1,365	126	9.3

(グランピング・ツーリズム事業)

当第３四半期連結累計期間における観光市場におきましては、2026年７～９月期の訪日外国人旅行消費額が２兆2,076億円（前年同期比3.2%増）と推計され、費目別では宿泊費が7,778億円（構成比35.2%）と最も多くを占めるなど、堅調なインバウンド需要が継続いたしました。（出典：観光庁「インバウンド消費動向調査」）

このような事業環境のもと、インバウンド需要の拡大と国内観光ニーズの多様化に対応するため、「グランピング事業」と「ツーリズム事業」の２軸で観光領域の事業展開を行っております。

グランピング事業におきましては、「VISION GLAMPING Resort & Spa 山中湖」（山梨県山中湖村）及び「VISION GLAMPING Resort & Spa こしかの温泉」（鹿児島県霧島市）が堅調に推移いたしました。また、2027年初頭のオープンを目指す「VISION GLAMPING Resort & Spa 淡路島」につきましては、建設作業が順調に進捗しております。

ツーリズム事業におきましては、米国やオーストラリア、欧州、東南アジア、中南米等幅広いエリアからの訪日需要を捉えるとともに、2026年４月より連結対象となった株式会社フリープラスとのシナジー創出に向けた取り組みを推進いたしました。また、将来的な事業拡大を見据えて2026年６月より運用を開始したセブ拠点においても、人件費等の先行投資を実行しながら順調に体制構築を進めております。

この結果、当第３四半期連結累計期間における売上高とセグメント利益は、前年同期を上回り、過去最高となりました。

グランピング・ツーリズム事業	当第３四半期連結累計期間（百万円）	前年同期（百万円）	増減（百万円）	増減率（%）
売上高	1,736	1,182	554	46.9
セグメント利益	143	130	12	9.4

（２）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における資産合計は29,513百万円(前連結会計年度末比658百万円減)となりました。

流動資産は、20,999百万円(前連結会計年度末比2,037百万円減)となり、その主な要因は、現金及び預金が2,590百万円減少した一方で、売掛金が508百万円、商品が117百万円増加したことによるものです。

固定資産は、8,514百万円(前連結会計年度末比1,378百万円増)となり、その主な要因は、のれんが584百万円増加したことによるものです。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債合計は8,901百万円(前連結会計年度末比18百万円増)となりました。

流動負債は、6,913百万円(前連結会計年度末比219百万円増)となり、その主な要因は、支払手形及び買掛金が120百万円、前受金等のその他流動負債が1,064百万円増加した一方で、未払法人税等が673百万円、未払金が196百万円減少したことによるものです。

固定負債は、1,987百万円(前連結会計年度末比201百万円減)となり、その主な要因は、長期借入金が327百万円減少したことによるものです。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産は20,612百万円(前連結会計年度末比677百万円減)となりました。その主な要因は、自己株式の取得等により1,390百万円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が690百万円増加したことによるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、当第３四半期連結累計期間の実績や足元の事業環境、今後の見通し等を踏まえ、2026年２月13日に公表いたしました通期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2026年11月13日）公表いたしました「2026年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,560,602	10,970,047
売掛金	7,286,599	7,794,794
商品	471,383	588,486
貯蔵品	940	3,256
その他	1,888,786	1,858,093
貸倒引当金	△171,544	△215,452
流動資産合計	23,036,766	20,999,225
固定資産		
有形固定資産	4,431,477	4,473,719
無形固定資産		
のれん	704,970	1,289,065
その他	209,217	267,557
無形固定資産合計	914,187	1,556,622
投資その他の資産		
その他	1,921,583	2,673,993
貸倒引当金	△131,345	△189,724
投資その他の資産合計	1,790,237	2,484,269
固定資産合計	7,135,902	8,514,611
資産合計	30,172,669	29,513,837
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,574,131	1,694,866
短期借入金	―	40,000
1年内返済予定の長期借入金	95,888	55,830
未払金	2,164,171	1,967,968
未払法人税等	1,255,105	581,711
賞与引当金	271,068	182,394
株主優待引当金	33,130	25,331
その他	1,300,792	2,365,617
流動負債合計	6,694,289	6,913,721
固定負債		
長期借入金	1,837,028	1,509,758
役員株式給付引当金	33,272	42,811
その他	318,783	435,413
固定負債合計	2,189,083	1,987,984
負債合計	8,883,372	8,901,705
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,937,734	2,937,734
資本剰余金	2,755,732	2,755,732
利益剰余金	16,995,420	17,686,217
自己株式	△2,096,445	△3,487,270
株主資本合計	20,592,441	19,892,413
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,199	13,876
繰延ヘッジ損益	13,376	△2,412
為替換算調整勘定	234,731	280,319
その他の包括利益累計額合計	272,307	291,784
新株予約権	419,760	419,760
非支配株主持分	4,787	8,174
純資産合計	21,289,297	20,612,132
負債純資産合計	30,172,669	29,513,837

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	28,913,288	29,434,224
売上原価	12,773,538	13,307,122
売上総利益	16,139,749	16,127,102
販売費及び一般管理費	11,391,093	11,186,708
営業利益	4,748,655	4,940,393
営業外収益		
受取利息	4,184	7,889
受取配当金	6,275	3,578
持分法による投資利益	1,347	－
為替差益	13,309	7,461
受取保証料	－	43,076
その他	8,963	13,212
営業外収益合計	34,080	75,219
営業外費用		
支払利息	5,830	5,722
支払手数料	8,029	－
支払保証料	－	43,076
寄付金	10,000	34,900
その他	6,809	25,053
営業外費用合計	30,669	108,753
経常利益	4,752,066	4,906,860
特別利益		
新株予約権戻入益	649	－
投資有価証券売却益	3,031	28,282
特別利益合計	3,680	28,282
特別損失		
固定資産売却損	5,519	－
固定資産除却損	9,134	31,349
投資有価証券評価損	4,198	－
事業譲渡損	－	5,619
特別損失合計	18,852	36,969
税金等調整前四半期純利益	4,736,894	4,898,174
法人税、住民税及び事業税	1,528,540	1,564,868
法人税等調整額	37,110	46,860
法人税等合計	1,565,650	1,611,728
四半期純利益	3,171,243	3,286,445
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△6,803	3,386
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,178,047	3,283,058

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	3,171,243	3,286,445
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,990	△10,322
繰延ヘッジ損益	△6,320	△15,788
為替換算調整勘定	△1,925	45,588
その他の包括利益合計	20,744	19,476
四半期包括利益	3,191,988	3,305,922
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,198,792	3,302,535
非支配株主に係る四半期包括利益	△6,803	3,386

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

一部の連結子会社の税金費用は、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しています。

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　2025年１月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	グローバルWiFi事業	情報通信サービス事業	グランピング・ツーリズム事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	15,513,692	12,210,948	1,180,706	28,905,347	7,940	28,913,288	－	28,913,288
セグメント間の内部売上高又は振替高	517	1,282	1,772	3,572	35	3,608	△3,608	－
計	15,514,210	12,212,230	1,182,479	28,908,920	7,976	28,916,896	△3,608	28,913,288
セグメント利益又は損失（△）	4,604,203	1,365,364	130,763	6,100,331	△58,074	6,042,257	△1,293,601	4,748,655

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メディア事業、カタログ販売事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△1,293,601千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	グローバルWiFi事業	情報通信サービス事業	グランピング・ツーリズム事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	14,499,304	13,187,875	1,736,865	29,424,044	10,179	29,434,224	－	29,434,224
セグメント間の内部売上高又は振替高	163	1,587	－	1,750	－	1,750	△1,750	－
計	14,499,467	13,189,462	1,736,865	29,425,795	10,179	29,435,975	△1,750	29,434,224
セグメント利益又は損失（△）	4,728,944	1,492,303	143,031	6,364,279	△43,578	6,320,701	△1,380,307	4,940,393

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メディア事業、カタログ販売事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△1,380,307千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	555,711千円	647,890千円
のれん償却額	147,181千円	177,540千円